

(仮称)日進赤池SC

大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

1 概要

日進赤池箕ノ手土地区画整理事業地内に総合店舗を新設する(法第5条第1項)

2 届出の内容

届出年月日	平成28年2月25日		
店舗	店舗名称	(仮称)日進赤池SC	
	店舗所在地	日進赤池箕ノ手土地区画整理事業地内(11街区)	
設置者	名称	株式会社イトーヨーカ堂	
	代表者	代表取締役 亀井 淳	
	住所	東京都千代田区二番町8番地8	
	その他	なし	
小売業者	名称	株式会社イトーヨーカ堂	
	代表者	代表取締役 亀井 淳	
	住所	東京都千代田区二番町8番地8	
	その他	未定	
店舗面積	30,759 m ²		
施設の配置	駐車場	位置	別紙図面のとおり
		台数	2,253台 (指針台数: 2,062台)
	駐輪場	位置	別紙図面のとおり
		台数	637 台
	荷捌施設	位置	別紙図面のとおり
		面積	297.57 m ²
	廃棄物 保管施設	位置	別紙図面のとおり
		容量	271.05 m ³
施設の運営	営業時間	開店	午前9時
		閉店	午後11時
	駐車場利用時間帯	午前8時30分から午後11時30分まで	
	駐車場出入口	数	6箇所
		位置	別紙図面のとおり
荷捌時間帯	午前6時から午後10時まで		
新設する日	平成29年11月1日		

3 参考事項

敷地面積	44,697 m ²		
建築面積	30,313 m ²		
延床面積	136,718 m ²		
業態	総合店		
用途地域	近隣商業地域	—	—
備考			

(仮称)日進赤池SC

4 基本的配慮事項

配慮事項	記述事項
(1) まちづくり計画の検討	赤池箕ノ手地区計画への適合を図る
(2) 深夜営業の対応	深夜営業において、地域住民のご意見が寄せられた場合は、誠意をもって対応する。
(3) 住民説明会の開催	地域住民等の理解が十分得られるよう説明・周知
(4) テナントの履行確保	テナントとの連絡調整により履行確保
(5) 責任者の任命	店長を責任者として任命
(6) 予測乖離時の措置	情報を収集し、対策検討及び関係機関との調整を実施
(7) 通年の臨時措置	必要に応じて交通整理員を配置
(8) 開店時の臨時措置	交通整理員を配置

5 施設の配置及び運営方法に関する事項

1 駐車需要の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

(1) 交通に係る事項

ア 駐車場の必要台数の確保

(ア) 小売店舗の必要駐車台数

a 指針による算出

行政人口	店舗面積S	日來客数 原単位A (人/千㎡)	ピーク率B	駅からの距離 (商業系地域の 場合)	自動車分担率 C	平均乗車 人員D	ピーク1hの 来台車数F <small>S/1000×A×B×C/D</small>	平均駐車 時間係数G	必要駐車台数 F×G
87,797人	30,759 ㎡	950	14.40%	350 m	70.00%	2.50 人	1,178 台	1.75	2,062 台

総駐車台数	従業員等駐車台数	業務用駐車台数	搬出入用駐車台数	併設施設駐車台数	=	来客用駐車台数	評価
2,253 台	0 台	0 台	0 台	0 台	=	2,253 台	○

(イ) 小売店舗に併設施設を含めた必要駐車台数

a 指針の参考式による算出

併設施設 の面積	併設施設の割合 (併設施設面積/店舗面積)	必要駐車台数
9,007 ㎡	29.3%	2,253 台

総駐車台数	従業員等駐車台数	業務用駐車台数	搬出入用駐車台数	=	来客用駐車台数	評価
2,253 台	0 台	0 台	0 台	=	2,253 台	○

イ 駐車場の位置及び構造等

1平面自走オペレーター:無	2平面自走オペレーター:有	3機械式駐車場	共用駐車場数	ピーク1hの来台車数
1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	1,178 台

ウ 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

敷地内 駐車場	種別	1	収容台数	2,253 台	歩行者動線	非分離	騒音配慮	なし	排ガス配慮	アイドリングストップ	評価
	出入口数	道路種別	道路幅員	歩道	交差点距離	駐車待スペース	予測来台車数	道路形態	入出庫方法	整理員	
東	2箇所	市町村道	12m	あり	18.7m	16m	322	双方向	右左折混合	なし	○
西	2箇所	市町村道	20m	あり	12.8m	40m	441	双方向	左折のみ	なし	○
南	2箇所	市町村道	18m	あり	90m	40m	527	双方向	左折のみ	なし	○
北	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
交通整理員等の配置 年間を通して混雑する時期のみ配備											

評価	駐車場法の基準	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理
○	○	○	○	○	○

(仮称)日進赤池SC

エ 周辺交通状況の把握

交通量調査	来客車両等の方向別予測	店舗周辺状況調査	交通流動の予測
実施	実施	実施	実施(交差点需要率等の検討)

(ア)交差点需要率の検討

		休日			平日		
		現況	開店後	評価	現況	開店後	評価
交差点 1	需要率	0.499	0.695	○	0.557	0.705	○
	将来交通量/可能交通容量	0.455	0.851	○	0.653	0.982	○
	ピーク時間帯	12 時台			18 時台		
交差点 2	需要率	0.249	0.460	○	0.335	0.431	○
	将来交通量/可能交通容量	0.237	0.615	○	0.338	0.519	○
	ピーク時間帯	16 時台			17 時台		
交差点 3	需要率	0.680	0.744	○	0.652	0.661	○
	将来交通量/可能交通容量	0.837	0.879	○	0.810	0.839	○
	ピーク時間帯	16 時台			18 時台		
交差点 4	需要率	0.534	0.588	○	0.536	0.575	○
	将来交通量/可能交通容量	0.496	0.630	○	0.544	0.642	○
	ピーク時間帯	13 時台			18 時台		
交差点 5	需要率	0.444	0.629	○	0.518	0.651	○
	将来交通量/可能交通容量	0.548	1.199	△	0.421	0.873	○
	ピーク時間帯	16 時台			18 時台		
交差点 6	需要率	0.482	0.653	○	0.518	0.618	○
	将来交通量/可能交通容量	0.306	1.208	△	0.319	1.063	△
	ピーク時間帯	16 時台			18 時台		
交差点 7	需要率	0.377	0.566	○	0.380	0.511	○
	将来交通量/可能交通容量	0.598	1.002	△	0.664	0.976	○
	ピーク時間帯	12 時台			17 時台		
交差点 8	需要率	0.298	0.560	○	0.435	0.543	○
	将来交通量/可能交通容量	0.423	0.682	○	0.378	0.722	○
	ピーク時間帯	16 時台			17 時台		
交差点 9	需要率	0.311	0.474	○	0.452	0.567	○
	将来交通量/可能交通容量	0.284	0.545	○	0.640	0.700	○
	ピーク時間帯	16 時台			15 時台		
交差点 A	需要率	-	0.816	○	-	0.663	○
	将来交通量/可能交通容量	-	1.313	△	-	1.002	△
	ピーク時間帯	-			-		
交差点 B	需要率	-	-	-	-	-	-
	将来交通量/可能交通容量	-	非常に大	△	-	非常に小	○
	ピーク時間帯	-			-		
交差点 C	需要率	-	0.588	○	-	0.497	○
	将来交通量/可能交通容量	-	0.748	○	-	0.679	○
	ピーク時間帯	-			-		

◎サイクル長・青時間の変更を考慮した検討

		休日			平日		
		現況	開店後	評価	現況	開店後	評価
交差点 5	将来交通量/可能交通容量	0.548	0.971	○	-	-	-
交差点 6	将来交通量/可能交通容量	0.306	0.982	○	0.319	0.990	○
交差点 7	将来交通量/可能交通容量	0.598	0.981	○	-	-	-
交差点 A	将来交通量/可能交通容量	-	0.994	○	-	0.994	○

◎信号設置後の交差点需要率の検討

交差点 B	需要率	-	0.367	○	-	0.261	○
	将来交通量/可能交通容量	-	0.629	○	-	0.438	○
	ピーク時間帯	-			-		

※周辺道路の混雑を回避するための対策等

周辺の道路が混雑する場合、必要に応じて交通整理員の配置、場内アナウンスによる情報提供等の対応を行う。交差点5、6、7、Aについては交通容量比が1.0を上回るため、サイクル長・青時間の変更した場合について検討した。その結果、すべての地点で交通容量比が1.0を下回ることをもって、交通管理者と協議を行った。また、交差点Bについて、休日・開店後に東側からの流入車両の遅れの指標が「非常に大」となるが、交差点Bは信号交差点に適應できる構造で整備されることから、信号制御となった場合を想定し、交通処理を検討した。結果は、需要率は0.9を、交通容量比は1.0を下回ることとなることから、信号設置に必要な情報提供は行っていく。

(仮称)日進赤池SC

オ 駐輪場等の確保等

駐輪場の位置及び箇所数	店舗棟北側、北東側、南側、南西側にそれぞれ1箇所、西側に2箇所
駐輪場の収容台数	637台
標準収容台数	879台
収容台数根拠	既存店最大駐輪場利用台数実績×面積比＝必要駐輪台数

※ 必要駐輪台数は以下に示す既存店の利用実態調査の結果により設定した。
 設定方法は、最大駐輪場利用台数実績×面積比＝必要駐輪台数とし、以下のとおり設定した
 708台×0.81＝573台
 ここで、0.81＝30759(届出面積)/38000(既存店店舗面積)

位置評価	台数評価
○	○

既存店（アリオ倉敷）駐輪場利用実態台数（2015/2/23～2015/6/2の時間最大日を抽出）

時間	駐輪場台数
9:00	0
10:00	311
11:00	449
12:00	559
13:00	607
14:00	650
15:00	708
16:00	663
17:00	553
18:00	463
19:00	421
20:00	307
21:00	0
22:00	0

アリオ倉敷の概要

店舗オープン日：2011/11/25
 敷地面積：108,000㎡
 用途地域：近隣商業地域及び第二種住居地域
 店舗面積：38,000㎡
 営業時間：9：00～23：00
 最寄の駅及び距離：JR倉敷駅 130m

計画店舗との類似性

店舗規模、営業時間、駅に近接

カ 自動二輪車の駐車場の確保

自動二輪車駐車場の確保	確保	収容台数	27台
位置及び箇所	店舗東側に1箇所		

位置評価	台数評価
○	○

キ 荷捌施設の整備等

(ア) 荷捌施設の整備

停車位置	専用出入口・通路	面積	営業時間外の搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	隔離	297.57㎡	あり	20分	4台	11台	○

(イ) 計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
6:00～9:00	11台	7:00～8:00	21:00～22:00	なし	なし	○

ク 経路の設定等

(ア) 車両関係

a 来客車関係

案内表示の設置	交通整理員の配置	情報提供	生活道路の回避	通学路の回避	療養施設等の回避	右折経路
あり	配置なし	チラシ配布	回避	回避	回避	あり

b 搬出入車両関係

通学路との交錯	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
なし	—	—

※非配備の場合等の対応

—

c バス・タクシー等交通機関関係

駐車場の確保
バス・タクシー等の停留所なし

d 地方公共団体・公共交通事業者の事業関係

パークアンドライド事業等への協力
事業なし

評価
○

(イ) 歩行者通行関係

通り抜け可能通路の保持	通行妨害施設	閉店後の夜間照明の設置
必要なし	なし	必要なし

評価
○

(仮称)日進赤池SC

(ウ) 廃棄物・リサイクル関係

廃棄物減量化計画	リサイクル活動推進計画
実施	実施

評価
○

(エ) 防災・防犯対策への協力

a 防災への協力

避難場所の提供	物資の緊急提供	その他
締結可能	締結可能	-

b 防犯への協力

夜間照明の配置	警備員等の巡回	その他
-	-	-

評価
○

2 生活環境悪化防止関係

(1) 騒音発生に係る事項

ア 騒音問題対応策

(ア) 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
北東方向	15 m	30 m	荷さばき作業	なし	なし	-
南東方向	15 m	なし	来客車両	なし	なし	-
西方向	45 m	なし	来客車両	なし	なし	-
北方向	100 m	なし	来客車両	なし	なし	-

遮音壁の影響	遮音壁設置なし
--------	---------

(イ) 営業活動の騒音対策

早朝・深夜荷捌きの有無	なし
荷捌施設建築計画面での配慮	十分なスペースの確保による荷さばき時間の短縮
荷捌作業運営面での配慮	アイドリングストップの徹底、作業人員への騒音防止意識の徹底
放送設備使用面での配慮	屋外放送なし

(ウ) 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機等からの騒音配慮	必要に応じて低騒音型の機器を設置、または消音対策を実施
給排気口等からの騒音配慮	必要に応じて低騒音型の機器を設置、または消音対策を実施
駐車場からの騒音配慮	路面は舗装を行い、騒音の発生を抑制
廃棄物収集作業等に伴う騒音配慮	早朝・深夜の作業回避、作業人員への騒音防止意識の徹底
経年劣化等の事後対策	定期的なメンテナンスの実施、機器配置の見直し・更新

(エ) 併設施設における騒音対策

施設面の騒音配慮	未定
運営面の騒音配慮	未定

イ 騒音の予測評価

予測対象騒音	定常騒音	送風機(ファン)	204	特高変圧器	2	給排気口	137	ポンプ	16	冷凍機	4	冷却塔	4		
			室外機	122	キュービクル	37									
変動騒音	自動車走行	○	後進警報ブザー	○	台車走行	○									
	ゴミ収集作業	○													
衝撃騒音	リフトと床衝突	○	リフト昇降	○	ドア開閉	○									
建物の構造(高さ)		店舗棟:鉄骨造 地下2階 地上3階 屋上塔屋(約33m)、立駐棟:鉄骨造 地上6階 屋上塔屋(約20m)													

(ア) 等価騒音レベル予測

		北東(A)	南東(B)	西(C)	北(D)
用途地域		第2種住居地域	第1種住居地域	第1種住居地域	近隣商業地域
昼間基準値		55 dB	55 dB	55 dB	60 dB
夜間基準値		45 dB	45 dB	45 dB	50 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	54.1 dB	53.2 dB	49.7 dB	54.1 dB
	評価	○	○	○	○
	夜間等価騒音レベル	44.8 dB	41.5 dB	42.3 dB	47.2 dB
	評価	○	○	○	○
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当
	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当

(仮称)日進赤池SC

※基準値を超えた場合の対応等

-

(イ)夜間における騒音ごとの予測

A 商工系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所、図書館、特別養護老人ホームの有無					無
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か					
上記A・Bの具体的内容					-
		北東(a)	南東(b)	西(c)	北(d)
	用途地域	近隣商業地域	近隣商業地域	第1種住居地域	近隣商業地域
	基準値を5dB減ずる要因	なし	なし	なし	なし
	基準値	50dB	50dB	40dB	50dB
設置者	定常騒音の騒音レベル	49.4dB	33.8dB	37.7dB	44.3dB
	評価	○	○	○	○
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	40.8dB	53.3dB	47.8dB	46.2dB
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	妥当	妥当	妥当	妥当

		南東(B')			
	用途地域	第1種住居地域			
	基準値を5dB減ずる要因	なし			
	基準値	40dB			
設置者	定常騒音の騒音レベル	32.6dB			
	評価	○			
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	40.3dB			
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当			
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	妥当			

※基準値を超えた場合の対応等

地点bでは自動車走行音が基準値を上回りますが、保全対象側の予測地点である地点B'では基準値を下回ります。また、地点b及びB'の周囲には現在住居は無く、騒音の影響が懸念される施設等も存在しないことから、生活環境に与える影響は軽微であると考えます。
 地点cでは自動車走行音が基準値を上回りますが、地点cにおけるL5の測定結果が60～65dBであり、地点cの予測値48dBはこれを下回ることから、影響は軽微であると考えます。
 なお、開業後において、店舗周囲に住居が建設され、当該店舗からの騒音に対しご意見が寄せられた場合には、誠意を持って対応します。

(2) 廃棄物関係

ア 廃棄物等の保管について

悪臭問題関係配慮	保管場所は密閉性を保って設置
衛生問題関係配慮	腐敗による悪臭等が懸念される生ごみ等は屋内に冷蔵施設を設置

(ア)小売店舗の必要保管容量

a 指針に分類される廃棄物等

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用	122.85 m ³	1日	1.520 t	0.10 t/m ³	15.20 m ³	変更なし	○
金属製廃棄物用	65.25 m ³	1日	0.116 t	0.10 t/m ³	1.16 m ³	変更なし	○
ガラス製廃棄物用		1日	0.086 t	0.10 t/m ³	0.86 m ³	変更なし	○
プラスチック製廃棄物用		1日	0.194 t	0.01 t/m ³	19.43 m ³	変更なし	○
生ごみ用	82.95 m ³	1日	1.509 t	0.55 t/m ³	2.74 m ³	変更なし	○
その他可燃性廃棄物用		1日	1.661 t	0.38 t/m ³	4.37 m ³	変更なし	○
合計	271.05 m ³	-	-	-	43.76 m ³	-	○
保管日数の設定根拠	既存の実績に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

b その他の廃棄物等

なし

(仮称)日進赤池SC

(イ)小売店舗以外の施設の必要保管容量

a 飲食店の廃棄物等

取扱品目	飲食店の面積	飲食店の保管容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更
生ごみ等用	5,028 m ²	-	1日	1,005.6 kg	550 kg/m ³	1.83 m ³	変更なし
保管日数の設定根拠	既存の実績に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

b 小売店舗以外の施設の廃棄物等(廃棄物等の保管場所が小売店舗と同一の場合)

取扱品目	届出容量	小売店舗以外の必要保管容量	施設全体の必要保管容量	評価
紙廃棄物用	122.85 m ³	12.81 m ³	28.01 m ³	○
金属製廃棄物用	65.25 m ³	0.51 m ³	1.67 m ³	○
ガラス製廃棄物用		0.42 m ³	1.28 m ³	○
プラスチック製廃棄物用		12.90 m ³	32.33 m ³	○
生ごみ用	82.95 m ³	3.28 m ³	6.02 m ³	○
その他可燃性廃棄物用		1.28 m ³	5.65 m ³	○
合計	271.05 m ³	31.20 m ³	74.96 m ³	○

→ 生ごみは、飲食店における廃棄物等の一般的な排出原単位0.2kg/m²を用いて算定した

(ウ)小売店舗から排出される廃棄物の増減要因

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
レジ袋削減の実施	あり	空缶・空き瓶の回収箱設置	あり
ダンボール不使用納品の実施	あり	食品トレーの回収箱設置	あり
生ゴミ堆肥化施設の使用	なし	ペットボトルの回収箱設置	あり
廃棄物等圧縮機の使用	なし	食品加工場の設置	あり
脱水装置の使用	なし	物販店以外の施設との保管施設の共有	あり
その他	なし	その他	なし

※その他廃棄物減量化及びリサイクル等に係る取組み

- ・自動販売機を設置する箇所には、空缶・空き瓶・ペットボトルの回収箱を設置する。
- ・買い物袋持参運動等でレジ袋削減に取り組む。

(エ)廃棄物保管施設の位置・構造

位置・構造	種類・処理方法ごとの分別の実施	分別廃棄を実施
	搬出作業の利便性の確保	特になし
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保	夜間及び早朝作業は控える
	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施	あり
	生ゴミ保管施設の密閉性の確保	あり

イ 廃棄物等の運搬や処理について

十分な搬送頻度の確保	特になし
繁忙期の特別な措置	搬出回数を増便
運搬(予定)業者(免許番号)	AAA廃棄物(株) (2300013256)
運搬業者・処理業者に対する情報提供	未定
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	なし

ウ その他廃棄物関連対応策について

食品加工場等からの悪臭防止対策	屋内作業場とする
併設施設からの悪臭防止対策	未定

評価

○

(3) 街づくり等への配慮

街並みづくり等への配慮	外観・色彩等	新設都市計画道路の緑地計画との調和に配慮する
	環境美化活動	○ 敷地内・周辺の清掃活動の実施
市町村等の公的計画への協力	具体的な要請があれば検討する 市の交通政策見直しに協力し、公共交通機関の利用を促進する	
照明等の配慮	営業時間終了後、不必要な照明は速やかに消灯する	
敷地内の緑地計画	敷地外周部に緑化を計画する。計画面積:1,400m ² (3.1%)	

評価

○

(仮称)日進赤池SC

出店地連絡会議の意見概要	対応
入退店経路の周知徹底及び広域交通誘導を始めとした交通対策を実施すること。	交通管理者等との協議により計画した入退店経路を基本として、主要ポイントへ広域誘導看板を設置するほか、折込チラシ・フロアガイド・ホームページ上での案内等により、入退店経路の周知を図ります。また、適宜交通誘導員を配置して交通案内の徹底に努めます。
駐車場内の円滑な車両の誘導及び店舗出入口の安全対策を実施すること。	駐車場内の円滑な車両誘導を図り、動線の主従を明確にする路面標示や店舗出入口における警告灯やカーブミラーの設置を計画します。
公共交通機関を利用した来店を促進する対策を実施すること。	館内放送・ホームページ等による公共交通機関利用促進の周知、インセンティブの検討等、一般車両の来店台数を抑制する対策を実施します。
防犯カメラの設置等、防犯対策を実施されたい。	防犯カメラの設置、警備員・販売員による巡回、館内放送による注意喚起等の防犯対策を実施します。

市町村の意見概要	対応
(1) 駐車需要の充足等交通に係る事項 ア 交通渋滞の防止・軽減について十分な対応策を検討すること。	交通管理者等との協議により計画した入退店経路を基本として、主要ポイントへ広域誘導看板を設置するほか、折込チラシ・フロアガイド・ホームページ上での案内等により、入退店経路の周知を図ります。また、適宜交通誘導員を配置して交通案内の徹底に努め、交通渋滞の防止・軽減を図ります。
イ 地域公共交通の利用促進、路線バスの定時運行の確保、日進市中部及び北部からの地域公共交通でのアクセス利便性向上策について関係機関と協力して対応を図ること。	地域公共交通の利用促進、路線バスの定時運行の確保、日進市中部及び北部からの地域公共交通でのアクセス利便性向上策について、関係機関及びバス会社等との協議を行います。
(2) その他の事項 ア 通学路の安全確保にご配慮下さい。	交通計画においては、現在の通学路を極力回避するとともに、敷地の周辺部においては、店舗敷地内へ出入りする車両の運行等について、歩行者・自転車等の安全確保に努めます。
イ 設置者の従業員の通勤手段として地域公共交通、特に路線バスの利用促進策について検討されたい。	従業員の通勤手段として、電車、路線バスなどの公共交通機関の利用を促します。

住民等の意見の概要	対応
(1) 駐車需要の充足等交通に係る事項 ア 赤池2丁目交差点の西側を現在の2車線から3車線に戻すことを検討してください。もともと3車線あったところです。みよし市のイオンでは153号線に出る道が交差点付近で3車線(右折2車線、直進・左折1車線)になっています。	赤池2丁目交差点は、車両及び歩行者交通の安全を第一に、交通の処理、利便を考慮し、現計画が最良案として、警察、市、組合、事業者それぞれが検討し、協議の上、店舗開発計画を考慮した市道計画として整備されています。
イ 店舗予定地敷地に接する道路が片側1車線となっていることは、説明会でも心配の声が出ていました。渋滞した付近の入口を一時的にふさぎ、先の入口に車を誘導するとの説明でしたが、後続車を極力止めないように左折帯の設置または2車線化が必要ではないでしょうか。	来店車両は、路上に駐車待ち車両を生じさせないように、来店予測交通量に基づき、店舗敷地内に駐車待ちスペースを設け、対策を講じます。なお、道路の車線数を増やすことについては、道路計画が区画整理事業における協議の結果、決定された内容であり、これをこれから変えることは困難です。

(仮称)日進赤池SC

<p>ウ 赤池2丁目交差点だけでなく、もっと広範囲の道路・交差点にも右折帯の設置や延長、信号の改善、国道の車線数を増やすなど通過交通を分散させる総合的な対策を検討してください。国や市とよく相談してください。</p>	<p>国道事務所、愛知県、県警、日進市、愛知警察署等、本件道路管轄・交通管理に携わる全ての関係者の指導および協議を経て、総合的な判断のもと、交通計画を検討しております。</p> <p>赤池2丁目交差点右折帯の延伸については、箕ノ手交差点を整備する上で反映されて整備されています。また、今後浅田町平子交差点の市道側において、右折車線の延伸を予定しています。計画地周辺の交差点については、店舗設置後の予測交通量に対する交通処理について信号時間を変更したケースについても検討し、警察と協議しています。国道の車線数増加等、広域の交通機能向上に向けた道路行政に関する意見については、市を通じて報告します。</p>
<p>エ 混雑時のための追加・臨時駐車場の設置を検討してください。</p>	<p>現在、混雑時対策として店舗の敷地外で駐車場の候補地を検討しています。</p>
<p>オ 9月の説明会で出された「交通量調査」(平成23年調査)では古すぎて話になりません。今すぐにも、再度調査をしてください。この件は、4月の説明会でも多くの方から意見が出されています。</p>	<p>調査を当時行うこととなったのは、区画整理事業における道路の計画に対し、愛知県、愛知県警により、出店にかかる条件を見込んで計画を見直すように指導を受けたためです。その際に、交通量の調査を行っており、その時点が平成23年です。周辺の道路は、店舗の設置を前提に計画が策定され、整備が進められました。その後、国道153号を始め、周辺道路の交通量に大きな変化はないことから、調査した交通量を採用することで、愛知県とも確認済みです。なお、計画に反して店舗開店後に慢性的な渋滞等が生じる場合は、愛知県や愛知県警に、これを解消する対策を提案し、これに取り組む所存です。</p>
<p>カ 駐車場は2276台でしかもすべて建物内部とのこと。三好のイオンは2500台、建物の外部にもたくさんあって停めやすい、それでも渋滞している。イトーヨーカ堂の駐車場は少なく、建物の外での駐車場(例えば調整池を駐車場で使うなど)も考えないと、車がさばけないと思います。</p>	<p>駐車場は指針で定められた必要な駐車台数を確保し、交通計画については関係諸官庁のご指導のもと検討しております。また最大の混雑が予想されるオープン時対策等については、別途交通誘導計画等を作成し、関係諸官庁に相談し決定致します。臨時駐車場の確保も検討しており、交通検討を基本に開店後の状況を踏まえて、最適な案内方法の確立と駐車場の充足を図ってまいります。</p>
<p>キ 建物の周りの道路を今からでも整備してほしい。153号線は今でも大渋滞。小田赤池線は、一車線で153号線へ出るのに今でも大渋滞。赤池箕ノ手中央線は南で行き止まり。抜本的な対策を真剣に考えてほしいと思います。</p>	<p>建物周りの道路は、店舗の設置を前提に計画が策定され、区画整理事業における道路計画に関する協議に基づき、整備されました。協議にあたっては、区画整理事業地内だけでなく、小田赤池線と国道153号の交差点である浅田町平子の右折車線の延伸についても協議対象となっており、店舗開発事業者側で整備することとしています。</p>
<p>ク 説明会でも、近隣に空き地が少なく、臨時の駐車場の確保に苦労しているとのこと。数ヶ月の混乱が予想されるので、十分な臨時の駐車場を確保してください。また、建物の東側の調整池の上を駐車場にするなど、建物の反対側の駐車場も確保してください。建物だけに集中する駐車場では、交通の流れからしても、どう考えても無理があります。</p>	<p>臨時駐車場は、現時点ではその場所を確定できませんが、オープン時の対策として確保します。</p>
<p>ケ 愛知県が主導して、国道153号線の拡張を国に働きかけてください。日進市も、この153号線の拡張問題は機会を見て対応したいと言っていますが、今こそその機会だと思えます。</p>	<p style="text-align: center;">-</p>
<p>コ 三好のイオンがそうしたように、国道153号線へ出る小田赤池線の右折帯を1車線増やしてください。</p>	<p>赤池2丁目交差点は、車両及び歩行者交通の安全を第一に、交通の処理、利便を考慮し、現計画が最良案として、警察、市、組合、事業者それぞれが検討し、協議の上、店舗開発計画を考慮した市道計画として整備されています。</p>

(仮称)日進赤池SC

<p>サ 店舗の南側、赤池箕ノ手中央線の道幅を少しでも広げてください。香久山のピアゴの周りは、最初から広く取ってあります。</p>	<p>前述のとおり、赤池箕ノ手中央線を含む区画整理事業地内の道路は、店舗の設置を前提に計画が策定され、区画整理事業における道路に関する協議に基づき、現在の幅員で整備されたと認識しています。</p>
<p>(2) 騒音の発生に係る事項 ア 映画館が深夜までの営業と思われる。基準を守るというだけでなく、住宅地に近く、小学校や保育園が比較的近くにあることを考慮した営業時間としてください。</p>	<p>映画館に限らず、本件ショッピングセンターの運営にあたっては、周辺的生活環境に配慮します。</p>
<p>(3) その他の事項 ア 工事中の事故・渋滞を避ける対策をしてください。</p>	<p>工事用車両の出入口には、交通誘導員を配置し、歩行者・自転車の安全確保と車両の円滑通行を図った対策を講じています。</p>
<p>イ 近隣の商業施設の営業への影響が考えられます。商工会に加入、未加入を問わず商業施設と相談するなど対策をはかってください。</p>	<p>日進市商工会、名古屋市・愛知県の商工関係の方とは、話し合いをしています。</p>
<p>ウ 保育所や日進市役所の支所、図書館分館の設置などは、住民の要望をよく聞き対応してください。</p>	<p>本件ショッピングセンターに導入する施設等について、日進市や住民の皆様より頂いた要望等については、誠意をもって関係者と協議・検討致します。</p>

<p>県の意見案</p>
<p>意見なし</p>

<p>県の意見に至る考え方</p>
<p>指針配慮事項に対する設置者の対応は概ね妥当であり、また、日進市長及び住民等から意見が提出されているものの、設置者の対応に特に問題はないと考えられる。</p>